

森林

レンジャー

がゆく

(13)

梅雨の山の散策

戸倉三山、天気は曇り。尾根道の巡視途中、近くでツツドリとオオルリが鳴いていました。もう少し詳しく調べて見ようと思ひ、右手の作業道を下り、観察をしているとハイカーがやや早い速度で同じ作業道に下りて来ました。「あっ！ここにちは」と挨拶し、「この道を歩いた事ありますか」と聞いたところ、「いやっ」という返事が返って

きました。「どこに向かっているんですか」と質問すると、「刈寄山です」ということでしたが、この道では刈寄山には行けない道でしたので、「この道は盆掘川の支流に下ってしまうので、刈寄山に行くのであればもう一度尾根に上がってそのまま尾根道を歩いてください。」と案内しました。引き続き尾根道で巡視をしていると、急に雷雨になりました。先ほど案内したハイカーが道を間違わないで刈寄山に向かったことに安心しました。もしも、道を間違えて作業道を下つていけばオリゾコナイ沢と言う沢に下ることになります。道は途中でかなり危険な下り坂になり、ただの獣道となります。更に、沢は一般のハイカーにはとても

危険な沢で、大雨による増水などでかなり大変な目に遭っていたかも知れません。

今、あきる野の山々は、緑が深まり、ハイキングを楽しむ季節になりました。私は、多くの方にあきる野の自然を楽しんでもらいたいと思ひますが、その反面、危険も潜んでいます。山に出かける時には、自分の体力に合ったルートや装備をよく検討し、必ず地図も持つて行くようにしてください。また、我々レンジャーを見かけたら、遠慮なく話しかけてください。さあ！梅雨の季節がやってきました。レインウェアを着て深沢のあじさい山や横沢入を散策してはいかがでしょうか。

パブロ



横沢入



あじさい山